



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月4日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社 上場取引所 大・福
 コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江里口 俊文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡邊 和雄 (TEL) 0968 (66) 2111
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績 (平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	5,627	△6.5	105	△62.5	38	△80.9	12	△90.2
22年12月期第3四半期	6,021	1.0	281	△0.0	202	4.6	127	2.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年12月期第3四半期	1	22	-	-
22年12月期第3四半期	12	48	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年12月期第3四半期	21,748		10,054		46.2	984	05	
22年12月期	22,016		10,096		45.9	988	13	

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 10,054百万円 22年12月期 10,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年12月期	-		2	00	-		4	00
23年12月期	-		2	00				
23年12月期 (予想)					-		4	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,520	△2.7	200	△31.9	100	△48.8	60	△49.8	5	87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 4 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	10,346,683株	22年12月期	10,346,683株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

23年12月期3Q	128,892株	22年12月期	128,813株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年12月期3Q	10,217,859株	22年12月期3Q	10,218,056株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、九州新幹線の全線開通など外出機会を高める要因がありましたものの、平成21年春から導入されていた高速道路における休日のETC車上限1,000円の特別割引制度が6月下旬に廃止され、休日最大5割引の制度となりました。さらに東日本大震災に伴う原発事故による韓国人旅行者の減少や、国内におきましても一時的な自粛ムードが見受けられました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,627,695千円（前第3四半期連結累計期間比393,961千円減）となり、経常利益は38,853千円（前第3四半期連結累計期間比164,076千円減）、四半期純利益12,495千円（前第3四半期連結累計期間比114,982千円減）となりました。

	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	5,627,695	6,021,656	△393,961	△6.5
営業利益	105,687	281,684	△175,996	△62.5
経常利益	38,853	202,929	△164,076	△80.9
四半期純利益	12,495	127,477	△114,982	△90.2

次に、事業の種類別セグメントごとの業績は次のとおりです。

①遊園地事業

九州の遊園地の当連結会計期間におきましては、7月・9月は前年を上回り、期間を通じて、猛暑によるプール入場者の大幅な増加等を要因として好調に推移した昨年の同連結会計期間に迫る勢いがあったものの、8月はお盆期間中の豪雨等で前年を下回りました。当連結累計期間におきましては、2月・3月の連休期間中や5月下旬から6月にかけての週末が悪天候となり、売上高は前年同期比287,550千円減収（△10.0%）の2,574,012千円となりました。

また、北海道の遊園地事業では、夏のイベント等により好調に推移し当連結会計期間では前年を上回ったものの、ゴールドウィークでの悪天候による減少が大きく影響し、売上高は前年同期比53,249千円減収（△9.4%）の515,303千円となりました。

その他の遊園地事業を加えた結果、当事業の売上高は、前年同期比342,905千円減収（△9.9%）の3,116,578千円となり、営業利益は前年同期比112,351千円減益（△29.3%）の271,159千円となりました。

②ゴルフ事業

直営3ゴルフ場におきましては、ゴルフコンペの獲得に努めたり、韓国及び中国の4つのゴルフ場との相互利用契約により集客に努めた結果、当連結会計期間において、前年並となりましたものの、震災等の影響が大きかった第2四半期累計期間の減収が大きく、当事業の売上高は、前年同期比47,128千円減収（△6.1%）の729,874千円となりました。しかしながら、さらなる経費節減に努めた結果、営業損失は前年同期比7,507千円損失減の49,803千円となりました。

③ホテル事業

九州のホテルにおきましては、東日本大震災に伴う宴会等の自粛や婚礼組数の減少等により、売上高は前年同期比88,432千円減収（△8.6%）の942,952千円となりました。

北海道のホテルにおきましては、従来のホテルサンプラザに加え、岩見沢市より指定管理者に指名された北村温泉ホテルが昨年8月1日にリニューアルオープンしましたことから、その売上を加えた結果、売上高は前年同期比88,215千円増加（+25.4%）の435,187千円となりました。

以上の結果、ホテル事業の売上高は前年と同水準で推移し、売上高は1,378,140千円となったものの、既存ホテル売上の減少により、営業損失は2,030千円（前年同期は営業利益41,667千円）となりました。

④不動産事業

不動産事業におきましては、土地賃貸料が前年と同水準で推移し、売上高は111,936千円となりました。営業利益ではグループ間の取引を見直したこともあり、前年同期比14,519千円増益（+25.4%）の71,596千円となりました。

⑤土木・建設資材事業

土木・建設資材事業におきましては、売上高が前年同期比3,461千円減収（△1.3%）の265,775千円となり、営業利益は受注工事構成の差異等により、前年同期比36,740千円減益（△56.1%）の28,748千円となりました。

⑥その他の事業

当事業の売上におきましては、前年と同水準で推移し25,390千円となり、営業利益は前年同期比337千円減益（△7.0%）の4,466千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 流動資産

流動資産は、1,071,471千円（前連結会計年度末比136千円増加）となりました。主な要因は受取手形及び売掛金で38,442千円減少したものの、商品及び製品で16,263千円、繰延税金資産で12,999千円増加したことによるものであります。

② 固定資産

固定資産は、20,677,337千円（前連結会計年度末比268,135千円減少）となりました。主な要因は有形固定資産の減価償却等で268,398千円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

流動負債は、4,203,089千円（前連結会計年度末比30,436千円減少）となりました。主な要因は営業未払金で75,088千円増加したものの、未払金で68,804千円、未払法人税等で54,870千円減少したことによるものであります。

④ 固定負債

固定負債は、7,490,953千円（前連結会計年度末比195,720千円減少）となりました。主な要因は長期預り金で165,400千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

純資産は、10,054,765千円（前連結会計年度末比41,841千円減少）となりました。主な要因は利益剰余金で48,812千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績予想につきましては、平成23年7月15日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

一般債権の貸倒見積高の算定方法は、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法としております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,693	313,804
受取手形及び売掛金	202,590	241,032
有価証券	999	999
商品及び製品	43,074	26,811
原材料及び貯蔵品	38,679	44,157
販売用不動産	347,537	347,537
繰延税金資産	23,651	10,651
その他	126,142	108,358
貸倒引当金	△19,896	△22,017
流動資産合計	1,071,471	1,071,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,954,045	5,169,188
機械装置及び運搬具（純額）	329,977	376,583
土地	14,439,555	14,437,115
その他（純額）	91,401	100,490
有形固定資産合計	19,814,979	20,083,377
無形固定資産		
その他	238,750	239,452
無形固定資産合計	238,750	239,452
投資その他の資産		
投資有価証券	191,315	179,558
繰延税金資産	336,582	343,130
その他	96,988	109,935
貸倒引当金	△1,279	△9,982
投資その他の資産合計	623,607	622,642
固定資産合計	20,677,337	20,945,473
資産合計	21,748,809	22,016,808

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,669	78,148
営業未払金	141,462	66,374
短期借入金	3,668,885	3,621,428
未払金	191,956	260,760
未払法人税等	11,443	66,313
賞与引当金	25,959	—
その他	111,712	140,500
流動負債合計	4,203,089	4,233,526
固定負債		
長期借入金	3,523,763	3,540,994
長期預り金	3,791,511	3,956,911
退職給付引当金	33,393	36,949
役員退職慰労引当金	42,538	49,578
その他	99,747	102,240
固定負債合計	7,490,953	7,686,674
負債合計	11,694,043	11,920,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,163,694	1,212,506
自己株式	△42,176	△42,154
株主資本合計	10,069,454	10,118,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,688	△21,680
評価・換算差額等合計	△14,688	△21,680
純資産合計	10,054,765	10,096,607
負債純資産合計	21,748,809	22,016,808

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,021,656	5,627,695
売上原価	5,309,228	5,086,509
売上総利益	712,427	541,185
販売費及び一般管理費	430,743	435,497
営業利益	281,684	105,687
営業外収益		
受取利息	109	244
受取配当金	1,748	2,731
負ののれん償却額	883	—
受取賃貸料	4,344	2,846
助成金収入	—	10,974
雑収入	5,279	3,798
営業外収益合計	12,367	20,595
営業外費用		
支払利息	89,998	81,495
雑損失	1,123	5,934
営業外費用合計	91,121	87,430
経常利益	202,929	38,853
特別利益		
固定資産売却益	5,307	2,652
貸倒引当金戻入額	—	1,826
その他	483	—
特別利益合計	5,790	4,478
特別損失		
固定資産除売却損	1,787	1,512
投資有価証券評価損	2,292	—
特別損失合計	4,079	1,512
税金等調整前四半期純利益	204,640	41,819
法人税、住民税及び事業税	82,449	40,540
法人税等調整額	△5,287	△11,216
法人税等合計	77,162	29,323
少数株主損益調整前四半期純利益	—	12,495
四半期純利益	127,477	12,495

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,256,504	2,191,085
売上原価	1,953,802	1,879,351
売上総利益	302,701	311,734
販売費及び一般管理費	138,890	142,618
営業利益	163,811	169,115
営業外収益		
受取利息	50	79
受取配当金	390	420
負ののれん償却額	294	—
受取賃貸料	1,620	155
助成金収入	—	5,374
雑収入	1,939	1,457
営業外収益合計	4,295	7,486
営業外費用		
支払利息	29,319	26,866
雑損失	465	314
営業外費用合計	29,784	27,181
経常利益	138,321	149,421
特別利益		
固定資産売却益	4,948	—
貸倒引当金戻入額	—	1,592
その他	165	—
特別利益合計	5,114	1,592
特別損失		
固定資産除売却損	—	7
投資有価証券評価損	2,292	—
特別損失合計	2,292	7
税金等調整前四半期純利益	141,143	151,005
法人税、住民税及び事業税	44,832	19,032
法人税等調整額	△10,335	17,204
法人税等合計	34,496	36,237
少数株主損益調整前四半期純利益	—	114,768
四半期純利益	106,647	114,768

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	204,640	41,819
減価償却費	347,650	335,227
負ののれん償却額	△883	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,382	△3,556
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	250	△10,823
受取利息及び受取配当金	△1,858	△2,975
支払利息	89,998	81,495
固定資産除売却損益 (△は益)	△3,519	△1,139
売上債権の増減額 (△は増加)	△769	47,004
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,045	△10,785
仕入債務の増減額 (△は減少)	53,018	48,609
未払金の増減額 (△は減少)	△22,644	△58,785
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,268	△14,458
その他	16,197	△18,818
小計	682,011	432,812
利息及び配当金の受取額	1,858	2,975
利息の支払額	△88,132	△84,120
法人税等の支払額	△71,492	△95,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	524,244	256,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,500	△4,500
定期預金の払戻による収入	6,000	3,600
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△14,198	△999
有価証券の売却による収入	997	998
有形固定資産の取得による支出	△75,825	△66,497
有形固定資産の売却による収入	5,642	2,706
無形固定資産の取得による支出	△350	—
その他	△100	2,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,335	△62,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△190,000	36,000
長期借入れによる収入	1,270,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,375,152	△1,105,774
社債の償還による支出	△86,000	—
長期預り金の返還による支出	△168,632	△165,400
自己株式の取得による支出	△55	△21
配当金の支払額	△71,283	△61,196
その他	△2,677	△3,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△623,800	△199,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△181,890	△6,011
現金及び現金同等物の期首残高	522,175	310,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	340,284	304,493

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

	前第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）								
	遊園地事業 (千円)	ゴルフ事業 (千円)	ホテル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	土木・建設 資材事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	3,459,483	777,003	1,378,356	111,906	269,236	25,670	6,021,656	—	6,021,656
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,391	8,219	58,633	737	1,431	61,286	134,700	(134,700)	—
計	3,463,874	785,223	1,436,990	112,643	270,667	86,956	6,156,356	(134,700)	6,021,656
営業利益(△損失)	383,511	△57,310	41,667	57,077	65,488	4,803	495,237	(213,553)	281,684

(注) 1. 事業区分は営業種目の類似性により区分しております。

2. 各事業の主な営業種目

- (1) 遊園地事業…………… グリーンランド、北海道グリーンランド遊園地、北海道グリーンランドホワイトパーク（スキー場）、モビリティおおむた
- (2) ゴルフ事業…………… グリーンランドリゾートゴルフコース、有明カントリークラブ大牟田ゴルフ場、久留米カントリークラブ広川ゴルフ場
- (3) ホテル事業…………… グリーンランドリゾートオフィシャルホテルブランカ、北海道グリーンランドホテルサンプラザ、グリーンランドリゾートオフィシャルホテルヴェルデ、北村温泉ホテル
- (4) 不動産事業…………… 不動産の賃貸、売買
- (5) 土木・建設資材事業… 建設資材の製造・販売・運搬
- (6) その他の事業…………… 生損保保険代理店等営業業務、労働者派遣業務

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、遊園地やホテル等の経営及び運営等を主な事業としていることから、サービス別に報告セグメントを、「遊園地事業」、「ゴルフ事業」、「ホテル事業」、「不動産事業」、「土木・建設資材事業」、「その他の事業」として識別しております。

遊園地事業	: 遊園地・スキー場等の経営、運営
ゴルフ事業	: ゴルフ場の経営、運営
ホテル事業	: ホテルの経営、運営
不動産事業	: 不動産の賃貸、売買
土木・建設資材事業	: 建設資材の製造、販売、運搬
その他の事業	: 生損保保険代理店等営業業務、労働派遣業務

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,116,578	729,874	1,378,140	111,936	265,775	25,390	5,627,695	—	5,627,695
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,300	15,621	55,757	17,150	2,631	55,862	151,322	△151,322	—
計	3,120,878	745,495	1,433,897	129,086	268,406	81,253	5,779,017	△151,322	5,627,695
セグメント利益又は損失(△)	271,159	△49,803	△2,030	71,596	28,748	4,466	324,136	△218,448	105,687

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△209,984千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。